



平成18年12月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年4月28日

上場会社名 サッポロホールディングス株式会社（コード番号：2501 東証第一部 札証）
（URL <http://www.sapporoholdings.jp>）

代表者 役職名 取締役 社長 氏名 村上 隆男
問合せ先責任者 役職名 取締役 経営戦略部長 氏名 持田 佳行 TEL：(03) 5423-7407

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有
（内容）その他有価証券については、3月末日現在の時価で評価しておりますが、減損処理は行っておりません。
減価償却費については、年度見込額のうち第1四半期までの分を計上しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：有
（内容）セグメント情報における事業のセグメント区分変更を行っております。
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：無

2. 平成18年12月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年1月1日～平成18年3月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年12月期第1四半期	85,301	△5.8	△4,832	—	△5,483	—	△5,914	—
17年12月期第1四半期	90,547	△3.9	△3,871	—	△4,731	—	△5,434	—
(参考)17年12月期	453,671	△8.3	10,300	△56.4	6,602	△63.3	3,629	△21.8

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年12月期第1四半期	△16.19	—
17年12月期第1四半期	△15.30	—
(参考)17年12月期	10.20	9.18

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年12月期第1四半期	532,752	103,748	19.5	284.04
17年12月期第1四半期	576,476	86,485	15.0	243.59
(参考)17年12月期	563,845	111,410	19.8	305.00

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年12月期第1四半期	△7,877	△3,568	8,350	21,648
17年12月期第1四半期	△4,557	△541	12,202	65,850
(参考)17年12月期	39,077	△7,675	△65,533	24,748

[参 考]

平成18年12月期の通期業績予想につきましては、平成18年2月17日に発表いたしました業績予想に変更ありません。

○ 添付資料

- ・ (要約) 四半期連結貸借対照表
- ・ (要約) 四半期連結損益計算書
- ・ 四半期連結剰余金計算書
- ・ (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- ・ セグメント情報
- ・ 生産、受注及び販売の状況
- ・ 決算補足説明資料

平成18年12月期 第1四半期連結業績の概況

1. 第1四半期の概況

当期は、「戦略的な投資と研究開発を強化し、将来に向けた持続的な成長を目指す」ことを目的に策定し、2月に発表した『サッポログループ新中期経営計画』（2006年～2008年）の初年度にあたります。

当第1四半期（平成18年1月1日から平成18年3月31日まで）の連結売上高は、外食・不動産事業が堅調だったものの、酒類事業の売上数量が前年を下回った影響などにより、853億円（前年同期比52億円、6%減）となりました。利益につきましては、連結営業損益が48億円の損失（前年同期は38億円の損失）、連結経常損益が54億円の損失（前年同期は47億円の損失）、連結四半期純損益が59億円の損失（前年同期は54億円の損失）となりました。

各セグメント別の概況につきましては以下の通りです。

【季節性要因による影響について】

当グループの業績は、酒類・飲料・外食事業の需要が特に夏に集中することから、大きな季節変動があり、第1四半期においては、売上高が他の四半期と比較して低くなる傾向があります。

【酒類事業】

ビール事業では、ビール・発泡酒・新ジャンルを合計した総需要が前年同期比108%程度と推定される中、以下のようなマーケティング施策を展開しました。

「黒ラベル」は、今年から当社のビール・発泡酒の主原料である麦芽とホップがすべて協働契約栽培品になったのを機にパッケージを一新し、原料にこだわる当社の姿勢と協働契約栽培訴求のフラッグシップ商品としてPRを行った結果、売上数量の前年同期比は103%となりました。

また、協働契約栽培を具現化した商品として、ドイツの当社指定農家118軒が生産した原料だけを使用した「畑が見えるビール」を3月に数量限定で発売しました。

「エビスビール」は引き続き高いブランド力を維持し、売上数量は前年同期比で112%となりました。エビスブランド合計の売上数量の前年同期比は、昨年の「エビス超長期熟成」の裏返しから、99%となりました。

発泡酒は、主力の「北海道生搾り」で原料へのこだわりをアピールしていますが、売上数量の前年同期比は67%となりました。

当社が「ドラフトワン」で新たに切り開いた新ジャンルは、各社が相次ぎ新商品を投入し、ますます競争が激化しています。「ドラフトワン」は、発売3年目を迎えて市場浸透度がますます高まっており、「スリムス」も新ジャンル唯一の機能性を切り口とした商品としてご支持いただいておりますが、昨年4月に複数社が参入していることなどから、同ジャンルの前年同期比は75%となりました。

輸入ビールの「ギネス」は、好調を持続しており、売上数量は前年同期比110%となりました。

以上により、ビール・発泡酒・新ジャンル合計の売上数量は、前年同期比88%となりました。

低アルコール分野では、昨年9月に発売した、既存の缶チューハイとは一線を画す「ザ・フルーツスパークリング」の新フレーバー「ホワイトグレープ」を3月に発売しました。

ワイン事業では、伸張著しい酸化防止剤無添加市場に健康機能をプラスした「ポリフェノール/有機酸たっぷり無添加ワイン」を3月に発売し、国産ワインの新たな柱へと育成を図っています。輸入ワインでは、イエローテイルをはじめ、ベリンジャー、ラ・キューベ・ミティークなどのブランド強化を図っています。

以上により、ワイン市場全体が苦戦する中、国産・輸入ワインの合計売上数量は前年同期比97%となりました。

以上の結果、酒類事業の当第1四半期の売上高は616億円（前年同期比42億円、6%減）となりました。

【飲料事業】

飲料業界の当期の総需要は、前年同期比101%程度と推定されます。

当社飲料事業においては、先に発表した2006～2008年中期計画に則り、『既存事業の再生・強化』と『新事業領域獲得への挑戦』を同時並行で推進しております。

既存事業再生・強化の具体的な施策である、重点ブランドの強化においては、「恵比寿茶房ブランド」の新規投入、「Ribbonブランド」および「がぶ飲みブランド」の全面リニューアルを実施しました。併せてTVCMの投入やウェブサイトの刷新など、積極的なプロモーションを展開してまいりました。

緑茶は「恵比寿茶房 玉露入りお茶」へのリニューアルによって、本物・高級感を醸し出す本格緑茶ブランドとしての独自の世界観を提案し、前年同期比101%と前年を若干上回る結果となりました。

伸張著しいミネラルウォーターについても、量販店を中心に国産品の販促活動を展開、前年同期比109%と前年を大きく上回る実績を上げることができました。

果汁カテゴリーでは、ご好評いただいているつぶ入り果汁飲料を「つぶの極みブランド」としてリニューアル、またマスコットキャラクターである「リボンちゃん」をデザインの中心に配した低果汁「Ribbon 爽快オレンジ」「Ribbon まろやかりんご」「Ribbon あっさりグレープフルーツ」を発売するなど、ブランド確立とラインナップの充実に努めましたが、実績は前年同期比96%となりました。

炭酸飲料については、発売以来1世紀にわたって親しまれている信頼のブランド「Ribbon シトロン」および「Ribbon ナポリン」（北海道地域限定）の中味・デザインを一新し、前年同期比124%の二桁増となりました。

飲料事業全体の当期の売上数量は、前年同期比97%となっています。

以上の結果、飲料事業の当第1四半期の売上高は121億円（前年同期比13億円、10%減）となりました。

【外食事業】

外食業界は、景気の回復を背景に個人消費が堅調に推移しているものの、コンビニエンス業界との競合や外食企業間の出店競争が厳しいことなどから、既存店は一進一退の状況にあります。

このような中で当社外食事業は、既存店の増収が続いたことや新規出店による売上増などにより順調に推移しました。

既存店は1月に低温の影響を受けましたがその後回復し、3月には和食店や新業態店舗の宴会売上を中心に高い伸び率となりました。

新規出店としては、新業態店舗「さかな市場・魚っす」の2号店を札幌に開店するなど計3店舗を出店しました。一方、入居するビルの建替えやショッピングセンターの改装などにより8店舗を閉鎖した結果、第1四半期末の店舗数は197店舗となりました。

以上の結果、外食事業の当第1四半期の売上高は59億円（前年同期比1億円、2%増）となりました。

【不動産事業】

不動産業界では、オフィスビル空室率の低下が進み、募集賃料の上昇もみられるなど、好況が顕著になってきています。

このような中、当社不動産事業は、賃貸オフィスビルや賃貸住宅においては、機能強化に向けた投資および積極的なリーシングを展開し、高稼働率を維持しております。商業施設を有する「恵

比寿ガーデンプレイス」「サッポロファクトリー」では、話題性の高いイベントを開催するなど集客力強化に努めました。

前年同期との比較においては、賃貸オフィスビルの稼働率が改善している他、販売用不動産の売却と(株)サッポロススポーツプラザのセグメント変更が主な増収要因となっております。

以上の結果、不動産事業の当第1四半期の売上高は5.5億円（前年同期比2億円、5%増）となりました。

2. 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が5.5億円となり、主に売上債権の減少額2.31億円、仕入債務の減少額6.0億円、未払酒税の減少額1.83億円の調整があり、7.8億円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3.5億円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1.9億円、無形固定資産の取得による支出が7億円となったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、8.3億円の収入となりました。これは主に、短期借入金による調達2.13億円、長期借入金による調達1.0億円がある一方、長期借入金の返済による支出が1.24億円となったことによるものです。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は2.16億円となりました。

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期末 (平成18. 3.31現在)	前第1四半期末 (平成17. 3.31現在)	増 減	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成17.12.31現在)
[資産の部]				
流動資産	109,416	158,612	49,195	140,093
現金及び預金	22,339	66,297	43,957	25,442
受取手形及び売掛金	48,581	52,179	3,597	71,726
たな卸資産	23,952	25,778	1,826	21,927
その他	14,772	14,557	214	21,299
貸倒引当金	229	200	28	302
固定資産	423,335	417,864	5,471	423,752
有形固定資産	340,109	350,137	10,027	340,771
無形固定資産	2,170	2,296	125	2,008
投資その他の資産	83,860	68,282	15,578	83,832
貸倒引当金	2,805	2,851	45	2,860
資産合計	532,752	576,476	43,724	563,845
[負債の部]				
流動負債	218,517	219,927	1,410	220,197
支払手形及び買掛金	26,516	29,598	3,082	32,586
短期借入金及び 1年内償還社債	94,911	101,210	6,298	62,971
未払酒税	19,889	20,674	784	38,260
その他	77,199	68,444	8,754	86,379
固定負債	210,486	270,062	59,576	232,236
社債	44,219	59,720	15,501	44,219
長期借入金	91,451	142,523	51,072	113,532
退職給付引当金	16,631	16,516	115	17,195
その他	58,183	51,302	6,880	57,289
負債合計	429,003	489,990	60,987	452,434
[少数株主持分]				
少数株主持分	-	-	-	-
[資本の部]				
資本金	46,595	43,831	2,764	46,595
資本剰余金	39,011	36,242	2,769	39,010
利益剰余金	2,221	898	1,323	9,962
その他有価証券評価差額金	16,607	6,229	10,377	16,502
為替換算調整勘定	208	341	133	198
自己株式	478	374	104	461
資本合計	103,748	86,485	17,263	111,410
負債、少数株主持分及び資本合計	532,752	576,476	43,724	563,845

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期	前第1四半期	増 減	前連結会計年度の 要約連結損益計算書
	(平成18. 1. 1から 平成18. 3.31まで)	(平成17. 1. 1から 平成17. 3.31まで)		(平成17. 1. 1から 平成17.12.31まで)
売 上 高	85,301	90,547	5,245	453,671
売 上 原 価	60,468	62,827	2,358	311,191
売 上 総 利 益	24,832	27,719	2,887	142,480
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	29,664	31,591	1,926	132,179
営業利益又は営業損失()	4,832	3,871	961	10,300
営 業 外 収 益	552	466	86	2,069
受取利息及び配当金	110	118	7	823
そ の 他	441	347	94	1,245
営 業 外 費 用	1,203	1,326	123	5,767
支 払 利 息	731	959	228	3,495
た な 卸 資 産 廃 棄 損	107	71	35	1,183
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	187	236	49	84
そ の 他	178	58	120	1,003
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 ()	5,483	4,731	752	6,602
特 別 利 益	1	1,005	1,004	5,006
固 定 資 産 売 却 益	1	630	629	2,728
投 資 有 価 証 券 売 却 益	-	375	375	1,276
そ の 他	-	-	-	1,000
特 別 損 失	99	597	497	5,034
固 定 資 産 除 却 損	99	175	76	3,160
そ の 他	-	421	421	1,874
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	5,581	4,323	1,258	6,573
法人税、住民税及び事業税	156	122	34	29
法 人 税 等 調 整 額	176	988	812	2,913
当 期 純 利 益 又 は 四 半 期 純 損 失 ()	5,914	5,434	480	3,629

四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 〔平成18. 1. 1から 平成18. 3.31まで〕	前第1四半期 〔平成17. 1. 1から 平成17. 3.31まで〕	増 減	前連結会計年度の 連結剰余金計算書 〔平成17. 1. 1から 平成17.12.31まで〕
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高	39,010	36,241	2,768	36,241
資本剰余金増加高	1	0	0	2,768
新株予約権の行使 による新株の発行	-	-	-	2,764
自己株式処分差益	1	0	0	4
資本剰余金期末残高	39,011	36,242	2,769	39,010
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高	9,962	8,108	1,854	8,108
利益剰余金増加高	-	-	-	3,629
当期純利益	-	-	-	3,629
利益剰余金減少高	7,741	7,209	531	1,775
配当金	1,826	1,775	50	1,775
四半期純損失	5,914	5,434	480	-
利益剰余金期末残高	2,221	898	1,323	9,962

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 第 1 四 半 期	前 第 1 四 半 期	増 減	前連結会計年度の 要約連結 キャッシュ・フロー計算書
	〔平18. 1. 1から 平18. 3. 31まで〕	〔平17. 1. 1から 平17. 3. 31まで〕		〔平17. 1. 1から 平17. 12. 31まで〕
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△5,581	△4,323	△1,258	6,573
減価償却費	5,465	5,441	23	22,075
退職給付引当金の増減額(△：減少)	△563	△141	△421	537
貸倒引当金の増減額(△：減少)	△127	△90	△37	19
受取利息及び受取配当金	△110	△118	7	△823
支払利息	731	959	△228	3,495
有形固定資産売却益	△1	△630	629	△2,728
有形固定資産売却除却損	99	175	△76	3,160
売上債権の減少額	23,143	27,655	△4,511	8,138
たな卸資産の増減額(△：増加)	△2,025	△2,724	699	1,127
仕入債務の減少額	△6,069	△5,198	△870	△2,233
未払酒税の減少額	△18,370	△22,705	4,335	△5,119
預り金の増減額(△：減少)	△4,971	2,155	△7,127	19,463
その他流動負債の減少額	△7,637	△5,907	△1,729	△1,809
その他の	8,626	4,021	4,604	△5,498
小計	△7,393	△1,430	△5,962	46,374
利息及び配当金の受取額	312	318	△6	822
利息の支払額	△731	△867	135	△3,591
法人税等の支払額	△64	△2,577	2,512	△4,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,877	△4,557	△3,320	39,077
投資活動によるキャッシュ・フロー				
投資有価証券の取得による支出	△422	△90	△332	△634
投資有価証券の売却による収入	0	598	△598	2,235
有形固定資産の取得による支出	△1,909	△1,905	△4	△10,718
有形固定資産の売却による収入	5	2,184	△2,178	6,921
無形固定資産の取得による支出	△782	△77	△704	△1,786
長期貸付金の実行による支出	△6	△21	14	△647
長期貸付金の回収による収入	112	112	0	568
その他の	△565	△1,342	777	△3,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,568	△541	△3,027	△7,675
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金増加額	21,300	14,900	6,400	—
長期借入れによる収入	1,000	5,500	△4,500	12,500
長期借入金の返済による支出	△12,440	△6,799	△5,640	△36,129
配当金の支払額	△1,473	△1,360	△113	△1,782
自己株式の取得による支出	△19	△38	19	△132
自己株式の売却による収入	2	1	1	11
その他の	△19	—	△19	△40,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,350	12,202	△3,852	△65,533
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	40	△44	173
現金及び現金同等物の増減額(△：減少)	△3,099	7,144	△10,244	△33,957
現金及び現金同等物の期首残高	24,748	58,706	△33,957	58,706
現金及び現金同等物の期末残高	21,648	65,850	△44,201	24,748

セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

(単位：百万円)

摘 要	当第1四半期						平成18. 1. 1から 平成18. 3.31まで		消 去 又 は 全 社 連 結
	酒 類 飲 料 外 食 不 動 産 業 事 業 事 業 事 業 事 業 事 業					そ の 他	計		
売 上 高 (1) 外部顧客に対する 売 上 高	61,646	12,159	5,906	5,527		60	85,301	-	85,301
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,110	30	-	611		4	1,756	(1,756)	-
計	62,757	12,190	5,906	6,138		64	87,058	(1,756)	85,301
営 業 費 用	67,573	13,030	6,094	4,619		70	91,388	(1,254)	90,133
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ()	4,815	840	188	1,519		5	4,330	(502)	4,832

(単位：百万円)

摘 要	前第1四半期						平成17. 1. 1から 平成17. 3.31まで		消 去 又 は 全 社 連 結
	酒 類 飲 料 外 食 不 動 産 業 事 業 事 業 事 業 事 業 事 業					そ の 他	計		
売 上 高 (1) 外部顧客に対する 売 上 高	65,890	13,492	5,789	5,245		129	90,547	-	90,547
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,137	33	-	524		4	1,700	(1,700)	-
計	67,027	13,526	5,789	5,769		134	92,247	(1,700)	90,547
営 業 費 用	70,566	14,464	6,028	4,392		162	95,613	(1,194)	94,418
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ()	3,538	938	238	1,377		28	3,366	(505)	3,871

(単位：百万円)

摘 要	前連結会計年度						平成17. 1. 1から 平成17.12.31まで		消 去 又 は 全 社 連 結
	酒 類 飲 料 外 食 不 動 産 業 事 業 事 業 事 業 事 業 事 業					そ の 他	計		
売 上 高 (1) 外部顧客に対する 売 上 高	341,077	63,896	26,331	21,696		669	453,671	-	453,671
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,974	342	-	2,136		24	7,477	(7,477)	-
計	346,052	64,239	26,331	23,832		693	461,149	(7,477)	453,671
営 業 費 用	339,497	64,932	25,779	17,992		823	449,025	(5,654)	443,371
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ()	6,555	692	551	5,839		129	12,123	(1,823)	10,300

(注)

(1) 事業区分の方法は、日本標準産業分類を参考にし、各事業の営業内容の類似性により区分しております。

(2) 各事業区分の主要製品

事 業 区 分	主 要 製 品
酒 類 事 業	ビール・発泡酒等・ワイン・ウイスキー他・物流・プラント・アグリ
飲 料 事 業	飲料水
外 食 事 業	ピヤホール・レストラン
不 動 産 事 業	不動産賃貸・不動産販売・商業施設運営・ユーティリティ供給・スポーツ施設運営
そ の 他	花き販売

なお、前第1四半期、前連結会計年度の「その他」にはスポーツ施設運営を含んでおります。

(3) 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、前第1四半期 526百万円、当第1四半期 504百万円であります。

(4) 従来、「その他事業」として区分しておりましたスポーツ施設運営事業を、当社グループの管理会計上の区分にあわせ「不動産事業」に含めて表示することといたしました。
 なお、この事業区分の変更に伴い、当第1四半期は「不動産事業」の売上高が165百万円増加、営業利益が17百万円増加する一方、「その他事業」の売上高が165百万円、営業利益が17百万円それぞれ減少しております。

生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

(単位：kl)

事業の種類別セグメントの名称	生産高	前期比(%)
酒類事業(ビール・発泡酒等)	165,844	11.2
酒類事業(ワイン等)	4,497	+9.2

2 受注実績

当グループでは受注生産を行っておりません。

3 販売実績

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	販売高	前期比(%)
酒類事業	61,646	6.4
飲料事業	12,159	9.9
外食事業	5,906	+2.0
不動産事業	5,527	+5.4
その他の事業	60	53.1
計	85,301	5.8

【決算補足説明資料】

平成18年度第1四半期決算（連結要約）

連結損益計算書（要約）

（単位：億円）

	平成18年度	平成17年度	増減	増減率
酒類事業	616	658	42	6.4%
飲料事業	121	134	13	9.9%
外食事業	59	57	1	2.0%
不動産事業	55	52	2	5.4%
その他	0	1	0	53.1%
売上高	853	905	52	5.8%
酒類事業	48	35	12	-
飲料事業	8	9	1	-
外食事業	1	2	1	-
不動産事業	15	13	1	10.3%
その他	0	0	0	-
全社	5	5	0	-
営業利益	48	38	9	-
営業外収益	5	4	1	18.5%
営業外費用	12	13	1	9.3%
経常利益	54	47	7	-
特別利益	0	10	10	99.9%
特別損失	1	6	5	83.4%
税引前利益	55	43	12	-
当期純利益	59	54	4	-

（連結）	平成18年度	平成17年度	増減	増減率
金融負債残高	2,305	3,034	728	24.0%
設備投資（支払ベース）	26	19	7	35.8%
減価償却費	54	54	0	0.4%

販管費明細

（単位：億円）

	平成18年度	平成17年度	増減	増減率
販売費及び一般管理費計	296	315	19	6.1%
販売奨励金手数料	75	79	4	5.7%
広告宣伝費	53	59	5	10.0%
給料手当	46	47	0	1.8%
退職給付費用	7	9	2	25.6%
その他	114	119	5	4.5%

平成18年度第1四半期決算（連結）

主な利益増減要因

は利益減少要因

（単位：億円）

主な増減要因	増減	備考	
		内容	金額
ビール等	14		
限界利益	18	数量増減・品種構成	18
		原材料費	1
		製造原価高	1
		その他	0
固定費その他	4	販売費減	3
		システム関連費用	1
		その他	0
ワイン洋酒	1	数量増減・品種構成	0
		コスト削減	1
その他	1	その他	1
酒類事業	12		
飲料事業	1	数量増減・品種構成	2
		原価削減	2
		その他コスト削減	1
外食事業	1	売上増	1
		コスト削減	0
不動産事業	1	販売	1
		賃貸	0
その他事業	0		
全社	0	間接部門費用	0
営業利益増減額	9		
営業外収支	2	金融収支（ 8 6）	2
		その他	0
経常利益増減額	7		
特別損益	5	固定資産売却益（ 6 0）	6
		固定資産除却損（ 2 1）	1
		投資有価証券売却益（ 4 0）	4
		その他（ 4 0）	4
法人税等増減額	8		
当期純利益増減額	4		